

平成29年度 文化庁日本語教育大会・大阪大会<2日目>

【13:00~15:00】

「生活者としての外国人」のための日本語教育テーマ別実践報告会

本実践報告会では、「生活者としての外国人」を対象として活動する様々な団体に、それぞれが取り組む活動や実践の中から見えてきた成果・課題を報告してもらう中で、これからのそれぞれの分野での活動のあり方を議論してもらいます。

(1) 第1分科会

「地域日本語教育の専門家って何をするの？」

～空白地域解消の実践から（地域日本語教育スタートアッププログラム）～

ファシリテーター 土井 佳彦（NPO 法人多文化共生リソースセンター東海）

報告者 西原 鈴子（NPO 法人日本語教育研究所，元文化審議会会長）

報告者 犬飼 康弘（公益財団法人ひろしま国際センター）

(2) 第2分科会

「子供に日本語を教える人の専門性を考えよう

～就学前から青年期にわたる対象別の日本語学習支援を通して～

ファシリテーター 浜田 麻里（京都教育大学）

報告者 川上 貴美恵（社会福祉法人せんねん村）

報告者 磯村 美保子（公益財団法人名古屋 YWCA）

(3) 第3分科会

「ライフステージに応じた日本語学習を支援するには

～成人の学びの在り方を考える～

ファシリテーター 松尾 慎（東京女子大学）

報告者 安場 淳（首都圏中国帰国者支援・交流センター）

報告者 小瀧 雅子（公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部
公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT））

報告者 富岡 拓也（株式会社ラーンズ）